

景観学習

県では、将来の山口県を担う子ども達に、ふるさとの美しい景観に気づき、守り、育てていくことの大切さを実感してもらうことを目的とし、平成19年度から小中学校における景観学習を実施しています。

令和元度は、岩国市立高森小学校から依頼を受け、3年生2クラスを対象として5・6月に景観学習を実施しました。

■景観学習の内容■

- 第1回：県内の主な景観等の学習（令和元年5月29日(水)）
 - ・景観学習副読本を使用して、担任の先生による授業を実施し、景観の種類や県内の主な景観等について学習しました。
- 第2回：五感を用いた景観のとらえ方の学習、校内景観探し（令和元年6月6日(木)）
 - ・五感を用いた景観のとらえ方について学習した後、校内で実際に景観探しを行い、子どもたちが見つけた景観はスタッフが種類ごとに分類し、景観アドバイザーから講評をしました。
- 第3回：校外景観探しの事前学習（令和元年6月10日(月)）
 - ・校外景観探しに当たっての諸注意、カメラ操作の練習や当日の役割分担の話し合いをしました。
- 第4回：校外景観探し、まとめ、発表（令和元年6月11日(火)）
 - ・子どもたちを8班（各班5～6名）に分け、高森小学校周辺での景観探し（まち歩き）を実施しました。
 - ・見つけた景観は、子どもたちが班ごとに景観マップとしてとりまとめ、発表しました。

▼副読本を使用した授業



▼校内でたくさんの景観を発見



▼校外での景観探し



▼景観マップの作成・発表

